

第6期川崎区区民会議「進めよう川崎まちづくり部会」 審議課題について

審議テーマ1：地域防災力の向上

第5期区民会議で取り組んだ

「地域手作り防災マップ」及び「防災手帳」の普及・推進

取組の方向性

- ◇第5期区民会議で取り組んだ「地域手作り防災マップ」と「防災手帳」を普及させるための取組を推進する。
- ◇「地域手作り防災マップ」においては、第5期で作成したマニュアル『地域防災マップづくりのすすめ』を活用し、町内会・自治会等への団体へ呼び掛け、マップづくりを促す働き掛けを行う。

審議における検討事項

- ◇「地域手作り防災マップ」の作成、「防災手帳」を活用した家族防災会議の普及のため、機会を捉えて啓発・普及する方法の検討（町内会での防災訓練での配布、町内会連合会での説明など）
- ◇「地域手作り防災マップ」づくりの取組を推進するための働き掛け（目標の設定、手を上げた団体への支援方法、準備やプログラムなど区民会議の関わり方の整理）
- ◇第6期で「地域手作り防災マップ」づくりを実施する地域の選定と実施時期の整理（※池上新町町内会で実施予定）
- ◇掲載する項目や地図の縮尺の統一など、「地域手作り防災マップ」の仕様について、より見やすく、わかりやすいマップ作成方法の検討

自助の大切さの啓発に向けた取組の検討

取組の方向性

- ◇災害時に公助があるまでの3日間を自分達でどう生き延びていくかという視点を持ちながら、備蓄のあり方、物資の配給など、自助の大切さの啓発に向けた取組を検討する。

審議における検討事項

- ◇自助の大切さを啓発できるような取組の検討（防災グッズやお菓子などを使った啓発など）
- ◇防災備蓄・物資配給・避難所運営などの整理

第6回専門部会（1/30）で出された主な意見

<地域手作り防災マップについて>

- 池上新町町内会で実施は決まったが、また次の地区の選定をどのようにするかが課題である。区連合町内会で呼び掛けて、どこかが手を上げてくれればいいし、我々が住んでいる町内会に働き掛ける方法もある。中央、田島、大師の候補地をバランス良く挙げられればいい。
- 自分たちだけでマップづくりができることが理想であるが、しばらくは区民会議のメンバーが分散して行って、手伝えるといい。
- マニュアル「みんなで作る！地域防災マップづくりのすすめ」があるので、ベースとなるものを町内会でつくって、警察署や消防署に個別にアドバイスをもらうなどの方法で進めていければいいと思う。
- マップに掲載する内容は、マニュアルをベースに追加していくことでいいと思う。また、縮尺はサイズを揃えて、つながるようになるといい。

<自助の大切さの啓発に向けた取組の検討について>

- 啓発に向けて、防災訓練などのときに、啓発物としてチラシと一緒にお菓子を配布できればいい。

第3回全体会議（2/17）で出された主な意見

- スマートフォン等も多く普及しているので、ITを活用した取組も考えられる。特に、外国人市民の多くの方はスマートフォンが情報源で、例えば、記入した防災手帳をスマートフォンに保存しておくなど、ITの活用はとても有効に感じる。

【本日の検討事項】

- 防災手帳の普及・啓発
 - ・第5期区民会議で作成した「防災手帳」は、町内会での防災訓練での配布、町内会連合会での説明など、機会を捉えて啓発・普及する。
- 「地域手作り防災マップ」づくりの普及・推進
 - ・6月頃に、池上新町町内会でマップづくりを実施する。また、他地区についても実施を検討する。
- 自助の大切さの啓発
 - ・自助の大切さを啓発できる取組（防災グッズ（お菓子など）を使った啓発など）を検討する。
 - ・防災備蓄・物資配給・避難所運営などを整理する。

審議テーマ2：自転車事故防止と防犯対策

自転車事故防止のためルールとマナーの啓発と自転車に関する犯罪防止対策

取組の方向性

◇ながら運転の防止など、ルールとマナーを徹底する啓発策を検討する。

◇盗難など、自転車に関する犯罪防止対策を検討する。

審議における検討事項

◇ルールとマナーの啓発方法の検討（標語づくり、標語を活かした啓発物の作成、ルールブックの作成・配布、事故が多い箇所の改善など）

◇自転車盗難などの犯罪を減少させるための取組と防犯対策の検討（ステッカーづくりなど）

第6回専門部会（1/30）で出された主な意見

- ① 高校生に自転車のマナーアップに協力してもらうなど、子どもたちがルールづくりに参画してもらえるといい。
- ② 事故多発現場の視察ができると思う。事故が多発しているところは何か原因があると思うので防止策を提案できると思う。
- ③ ステッカーづくりや蛍光塗料の反射板のシールを作りたい。
- ④ 標語を活用するならば、公募をしてはどうか。
- ⑤ 既存のルールブックと差別化する必要がある。

【本日の検討事項】

- ルールとマナーの啓発
 - ・ステッカーや蛍光塗料の反射板シールなど、配布できる啓発物を作成する。
 - ・既存のルールブックをもとに、配布できるチラシを作成する。

審議テーマ3：「かわさき」の観光・文化の情報発信

「かわさき」発信のための観光ガイドマップづくり

取組の方向性

◇川崎区内の観光・文化資源を活用した「ガイドマップづくり」を行い、「かわさき」のまちな情報発信をする。

◇国際化を見据えて、外国人観光客への対応や観光の情報発信の方法、各関連施設の横の連携方策、川崎区の特徴的な観光資源の活用方策についても検討する。

審議における検討事項

◇どのような視点を持った観光ガイドマップの作成の検討（現在あるガイドマップの集約化、対象者別・目的別の観光コースづくりなど）

◇川崎区独自の観光資源の整理（工場夜景、東海道川崎宿など）

第6回専門部会（1/30）で出された主な意見

<観光ガイドマップづくりについて>

- ① いろいろなマップがすでにあるので、一覧表をつくって整理してはどうか。
- ② 現在あるマップをホームページなどで一覧にまとめて、集約させて使いやすくする方法もあると思う。

<「かわさき」独自の音楽文化の活用について>

- ① 海風の森で何かできると思う。
- ② 東扇島東公園では音楽のイベントをやっている、1万人ぐらい集まっている。子どもたちに来てもらうには行きやすい場所であればいいのではないかと。
- ③ 駅前にストリートミュージシャンがいる。その人たちが公園で演奏したり、気軽に音楽を楽しむような環境になるといいと思う。

第3回全体会議（2/17）で出された主な意見

- ① 対象者別のコースづくりということで外国人も含まれているが、これも多言語化して欲しい。

「かわさき」独自の音楽文化の活用

取組の方向性

◇「かわさき」に根付いている音楽文化を活用し、音楽を楽しめる場の拡充など、音楽に触れ合える環境づくりを検討する。

審議における検討事項

◇「音楽のまち・かわさき」に関する取組の検討

【本日の検討事項】

- 観光ガイドマップづくり
 - ・現在あるマップを集約化して、利用者に使いやすくなるような仕組みをつくる。